

警戒レベル	避難行動	避難情報
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報
警戒レベル4	全員避難 速やかに避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示 (緊急)
警戒レベル3	高齢者等は避難 避難に時間を要する人とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等 避難開始
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	警報級の可能性

東温市が発令

市から発令される避難情報、国や都道府県から提供される防災気象情報は、左表のものがありません。土砂災害と洪水災害など、異なる災害で、異なるレベルの情報が発表される場合があることに気をつけましょう。

STEP 2 災害情報を確認

水害や土砂災害から、命を守るために。

「もしも」の時に備える

昨年は、記録的な風水害が集中して発生し、改めて自然の脅威と災害に対する備えの必要性を感じる一年でした。今年度から愛媛県では、災害時に皆さんが避難行動をすぐに取りれるよう、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供します。このうち警戒レベル3～5の避難情報は東温市が発令します。特に土砂災害警戒区域などにお住まい

の人は、避難勧告が発令された場合、速やかに避難するよう心がけてください。これまで発生した災害の記録を見ると、災害に対して事前に準備や確認をしていたことが、被害を最小限に抑えた、また被害に合わなくて済んだという結果があります。今一度、ご自身や家族で、災害発生時の行動を話し合ってみましょう。



△地域の避難マップを確認してみましょう。

☎ 危機管理課 964-4483

interview



市危機管理課
瀧野 浩二 危機管理官

自助のきもちで—

今後さらに激しくなると予想される自然災害は、決して他人事ではなく、皆さんやご家族の命に関わる問題です。

皆さんの避難行動を全力で支援しますが、自然の脅威が迫っている中、一人ひとりを助けに行くことはできません。避難するかしないか、最後はあなたの判断です。まずは、災害に関心をもって、事前の確認やできる準備を行い、「自らの命は自らが守る」という意識を持ちましょう。

避難情報の入手方法

防災行政無線 災害時に屋外のスピーカーや戸別受信機から、避難情報などをお知らせします。	Lアラート 放送事業者を通じ、市からの避難情報などをテレビなどのメディアで配信します。
緊急速報メール 緊急地震速報や災害・避難情報を被災の恐れがあるエリアの携帯電話に一斉配信します。	ラジオ 持ち運びができ、放送設備の復旧が早いので災害時の情報収集に活躍します。
どうおんメール 登録者へ災害時は防災情報や避難情報などを、平時は行政情報などを配信します。	SNS Twitter(ツイッター)などでリアルタイムの情報収集・発信が可能です。

STEP 1

危険な場所を確認

東温市防災マップで、自分が普段利用する道に危険な場所があるか確認しましょう。また、指定避難場所やそこまでの経路や移動手段を、家族で話し合っておきましょう。

周囲の危険箇所はどこ？

東温市が作成している防災マップやホームページを見て、河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所ではないかなど、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、

どのような危険があるのか確認しましょう。

避難する時はどこに？

東温市が指定している避難場所を確認して、そこまでの経路や移動手段について家族で計画しておきましょう。高

齢者や乳幼児が家族にいる、障がいを持っているなどによって移動時間も変わります。避難所での生活を考え、リュックなど両手を使える袋に1日程度生活するための防災セットをまとめておきましょう。

「見に行く」は危険です！

土砂災害の前兆を見つけるために、がけや川などに近づきすぎるのはかえって危険です。天気予報の降雨情報で「1時間に20ミリ」「降り始めから100ミリ」「土砂災害警戒情報」という言葉が出たら注意が必要です。

土砂災害発生危険箇所	
土石流 危険渓流	130
急傾斜地崩壊 危険箇所	596
地すべり 危険箇所	21
合計	747

▲山間部や河川流域が多く存在する東温市では、土砂災害が発生すると予測される危険箇所が747箇所あります。